

前向きな言葉で物事も前向きに

「心～Heart～」をテーマとした第2回全国プレゼンテーションコンクールin羽生 中学校の部で「最優秀プレゼン清水卯三郎賞」に輝いた埼玉中学校2年の松岡利朝さんと、根岸一朗さんが、1月25日、市役所を訪れました。

大会では、二人は同じ出来事でも幸せを感じるかどうかは自分の受け止め方で決まると気付いた経験から、「前向きな言葉は、物事も前向きにする」と、身振り手振りを交えて主張したそうです。生徒会活動にも携わる二人は「この経験を糧に悩みを抱える生徒や受験生へのメッセージを校内に掲示するなどし、学校全体を明るくしていきたい」と熱く話してくれました。



リズム良く楽しそうに 跳び続ける子供たち

1月26日、第30回行田市なわとび大会が開催され、市内の小学生362人が会場となった行田グリーンアリーナに集まりました。

あやとびや時間とびをはじめとした個人種目の他、長なわ1分間とびなどの団体種目、併せて9種類の種目で競われた本大会。選手らは観客席からたくさん声援を受けながら、リズムよく楽しそうに跳び続けていました。



327点の自信作が勢ぞろい

2月8日から11日まで、「行田グリーンアリーナ」サブアリーナで第21回公募行田市美術展が開催されました。

全327点に及ぶ絵画、彫刻、工芸、書、写真の自信作が出品され、来場した美術ファンはゆっくりと時間をかけて鑑賞していました。また、会場では出品者同士も互いの作品について話しながら次回作のイメージを膨らませているようでした。



行田市民大学 創立10周年をお祝い

1月29日、商工センターホールでNPO法人行田市民大学活動センターによる行田市民大学創立10周年記念式典が行われました。

平成21年に「市民による手作りの学校」を目指して設立された同大学。在校生の他、多くの卒業生も駆けつけたこの日の式典では、学長である工藤市長から赤松明ものつくり大学学長らへ感謝状が手渡された後、「矢澤知嘉子さんと仲間たち」によるコンサートも行われ、10周年のお祝いに花を添えました。これからも魅力あふれる生涯学習の場としての役割が期待されます。



ランナー目線で伝える本市の魅力

2月1日、東京都千代田区有楽町のふるさと回帰支援センターで、ランニングをテーマとした移住セミナーが開催されました。

セミナーでは、「行田走友会」の協力をいただき、ランナーから見た本市の魅力や先輩移住者の体験談を参加者に伝えました。また、公益財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団トレーナーによるランニング講座も行われ、参加者らは「実際に市内を走って行田のまちの魅力を体感したい」と話していました。



碁盤を挟んで真剣勝負

2月3日、中央公民館で第9回行田市青少年女囲碁大会が開催されました。

この日は、市内外から園児、小・中学生102人が出場し、19路盤戦、13路盤戦で白熱した対局を繰り広げました。碁盤を挟み緊張した面持ちで向かい合う棋士たち。真剣な眼差しで碁を打つその一手一歩から、勝ちたいという気迫が感じられました。



福を求めて手を伸ばす節分祭

2月3日、行田八幡神社で「節分祭豆まき」が開催され、多くの家族連れらでにぎわいました。

福を求め「こっちに!」と大きく手を伸ばしてアピールする人々。袴を着た年男・年女らが「鬼は外、福は内」の掛け声とともに、拜殿の廊下から元気いっぱい福豆やお菓子を撒くと、会場は大きくどよめいていました。



いきいきとした本格的な 歌と踊りのステージに酔いしれる

1月23日、「みらい」文化ホールで浮城シニアクラブ連合会主催による「第7回いきいき芸能発表大会」が行われました。

それぞれの老人クラブから選出された元気で活力あふれる出演者45組がカラオケと舞踊に分かれて日頃の練習の成果を披露。本格的な歌と踊りのステージに観客は酔いしれ、大いに盛り上がりました。

